

# トツパンの 愛児絵本

## 五大特長

1. 就学前の幼児を、前期（1〜3才）後期（4〜6才）の二期に分けて、それぞれの適切な編集をしてある。
2. 新感覚の動きのある絵、前期はバックを単純化、後期は構成的な要素を折込む。
3. 大きくよみやすいネーム、前期は歌う調子、後期は読む調子。
4. 内容は、どうぶつ、のりもの、知識ものの基本的なものを主体とする。
5. 美しい印刷と堅牢な造本。



監修 山下俊郎先生



前期用各50円 発売中  
 \*のりもの\*じどうしゃ\*でん  
 \*しやきしや\*たのしいのりもの  
 \*どうよう\*どうぶつ\*どうぶつ  
 つのあかちゃん\*どうぶつえん  
 後期用各80円 発売中  
 \*かすのえほん\*のりものえほん  
 \*あいいうえお 以下続刊

東京日本橋茅場町一の二〇 トツパン

# 幼年期の意味

ジョン・フィスク著 小川正通訳  
 新書版八四頁定価八〇円 一六円  
 進化論の立場から幼年期の重要性  
 を鋭く衝く名著

# 日本の幼児教育

その問題点をめぐりて  
 長田 新・山下俊郎・莊司雅子著  
 新書版一八四頁 定価一三〇円 一六円  
 日本の幼児教育の問題点をえぐり  
 だした鼎談

東京都千代田区神田小川町三ノ五 株式会社  
 振替東京一九六四〇電話(七五)七五五

フレール館